

2020年度 第2四半期決算説明会

2020年11月6日（金）

代表取締役社長CEO

加藤 照和

本日の内容

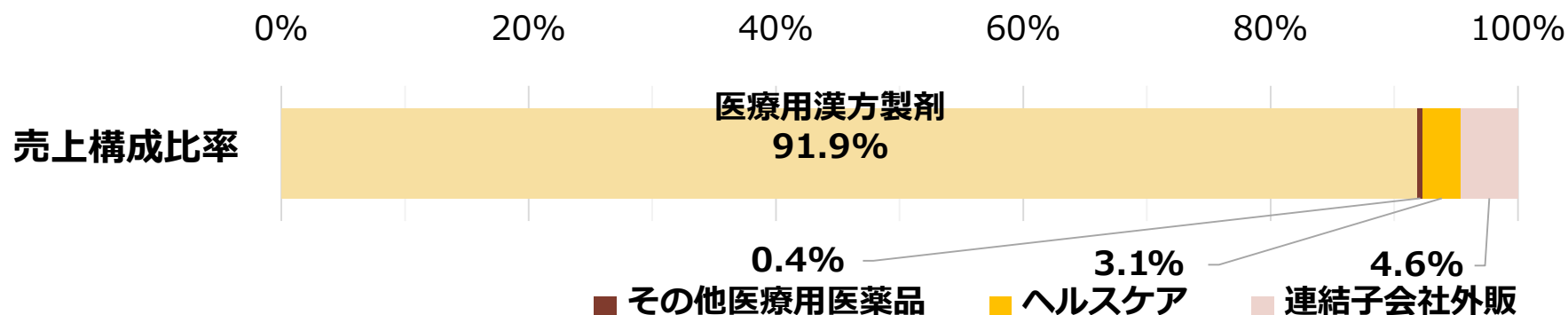
1. 2020年度 第2四半期決算の概要
2. 中国事業アップデート
3. 2020年度 業績予想・配当予想

1. 2020年度 第2四半期決算の概要

2020年度 第2四半期決算の概要

(百万円)

	2020年度 2Q計画	2020年度 2Q実績	達成率	2019年度 2Q実績	前年同期比		2020年度 通期計画
					金額	伸長率	
売上高	64,200	63,994	99.7%	60,802	3,191	5.2%	132,000
営業利益 (営業利益率)	9,100 (14.2%)	11,124 (17.4%)	122.2%	9,776 (16.1%)	1,348	13.8%	17,000 (12.9%)
経常利益	9,400	11,114	118.2%	9,856	1,257	12.8%	17,900
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,800	8,083	118.9%	7,073	1,045	14.9%	13,000



前年同期比は、増収増益の決算 計画比では、売上高は未達もすべての利益計画を達成

売上高	63,994 百万円	計画達成率	99.7%	前年同期比	+5.2%
-----	------------	-------	-------	-------	-------

- 中国子会社の新規連結により、前年同期比 5.2%伸長
- 医療用漢方製剤129処方 of 売上高は、前年同期比 1.1%伸長
- 一般用漢方製剤などのヘルスケア売上高は、前年同期比 25.2%伸長

営業利益	11,124 百万円	計画達成率	122.2%	前年同期比	+13.8%
------	------------	-------	--------	-------	--------

営業利益率	17.4 %			前年同期比	+1.3pt
-------	--------	--	--	-------	--------

- 売上原価率は、薬価改定による上昇分を生薬関連コストで吸収したものの、中国外販事業の影響により、前年同期比+0.7ptで41.6%
- 販管費率は、COVID-19の影響に伴う活動の制限による経費の未消化等で 前年同期比 Δ 1.9ptで41.1%。計画に対しては、研究実施の遅れおよび経費の未消化により Δ 3.0pt

経常利益	11,114 百万円	計画達成率	118.2%	前年同期比	+12.8%
------	------------	-------	--------	-------	--------

親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,083 百万円	計画達成率	118.9%	前年同期比	+14.9%
----------------------	-----------	-------	--------	-------	--------

育薬処方・Growing処方 売上高

	売上 順位	製品No./処方名	2019年度 2Q	2020年度 2Q	前年同期比		(百万円)
育薬 処方	1	100 大建中湯	5,262	5,237	△ 25	△0.5%	数量 では すべ てプ ラス 成長
	3	54 抑肝散	3,953	3,978	25	0.6%	
	4	43 六君子湯	3,719	3,774	55	1.5%	
	8	107 牛車腎気丸	1,831	1,808	△ 22	△1.3%	
	24	14 半夏瀉心湯	717	711	△ 6	△0.9%	
育薬処方合計			15,484	15,509	25	0.2%	
Growing 処方	2	41 補中益気湯	3,670	3,979	308	8.4%	
	5	68 芍薬甘草湯	2,724	2,595	△ 129	△4.8%	
	10	29 麦門冬湯	2,210	1,648	△ 562	△25.4%	
	7	24 加味逍遙散	2,348	2,415	67	2.9%	
	6	17 五苓散	2,318	2,527	208	9.0%	
Growing処方合計			13,273	13,165	△ 107	△0.8%	
育薬・Growing処方以外の119処方合計			29,384	30,104	719	2.5%	
医療用漢方製剤129処方合計			58,141	58,779	638	1.1%	

■ COVID-19の影響はありつつも、売上高は回復傾向

(薬価ベース)

医療用医薬品市場 \triangle **3.8%**

ツムラ

+ 1.3%

(前年同期比)

市場との差 **5.1pt**

Copyright © 2020 IQVIA. 「JPM 2020年4-9月」
をもとに当社が独自に集計 無断転載禁止

■ 一般診療所における訪問活動は徐々に再開しているが、 病院の訪問・活動規制は継続している

(実売・金額ベース)

売上トレンド

一般診療所

(売上構成比：76%)

+ 1.1%

(前年同期比)

耳鼻咽喉科の回復が遅れるも、
皮膚科・精神科でプラス

病院

(売上構成比：24%)

\triangle **3.0%**

(前年同期比)

訪問・活動制限の影響が大きい
手術数の減少・外来中止など

漢方薬の症状緩和に対する期待の高まり（医師・患者様）

前年同期比
（ ）は数量ベース

倦怠感 補中益気湯+8.4% (+10.5%)
人參養栄湯+2.9% (+3.2%)
COVID-19治癒後も倦怠感が取れない
と訴える患者様が多い

発熱 葛根湯+12.2% (+13.4%)
麻黄湯+15.4% (+15.4%)
発熱症状を緩和させるのに漢方薬は使いやすい

食欲低下 六君子湯+1.5% (+3.1%)
補中益気湯+8.4% (+10.5%)
外部環境の変化によって疲労感・食欲低下を訴え
体力の低下が懸念される患者様に処方している



不安感 半夏厚朴湯+16.7% (+17.1%)
加味帰脾湯+2.5% (+3.8%)
外部環境の変化に伴って不安感を訴える
患者様の増加

不眠 抑肝散加陳皮半夏+7.4% (+8.8%)
加味帰脾湯+2.5% (+3.8%)
高齢者の中で感染に対する不安などから
睡眠障害になっている患者様が多い

肥満症 防風通聖散+9.7% (+10.9%)
自宅待機や自粛が多くなっており、
肥満が気になっている患者様も多い

にきび 十味敗毒湯+9.8% (+11.3%)
清上防風湯+26.6% (+28.6%)
感染防止のためにマスクを装着している患者様が多く、
にきびの相談が顕著に増えている

10月7日 日本東洋医学会による記者会見

漢方治療に関する研究

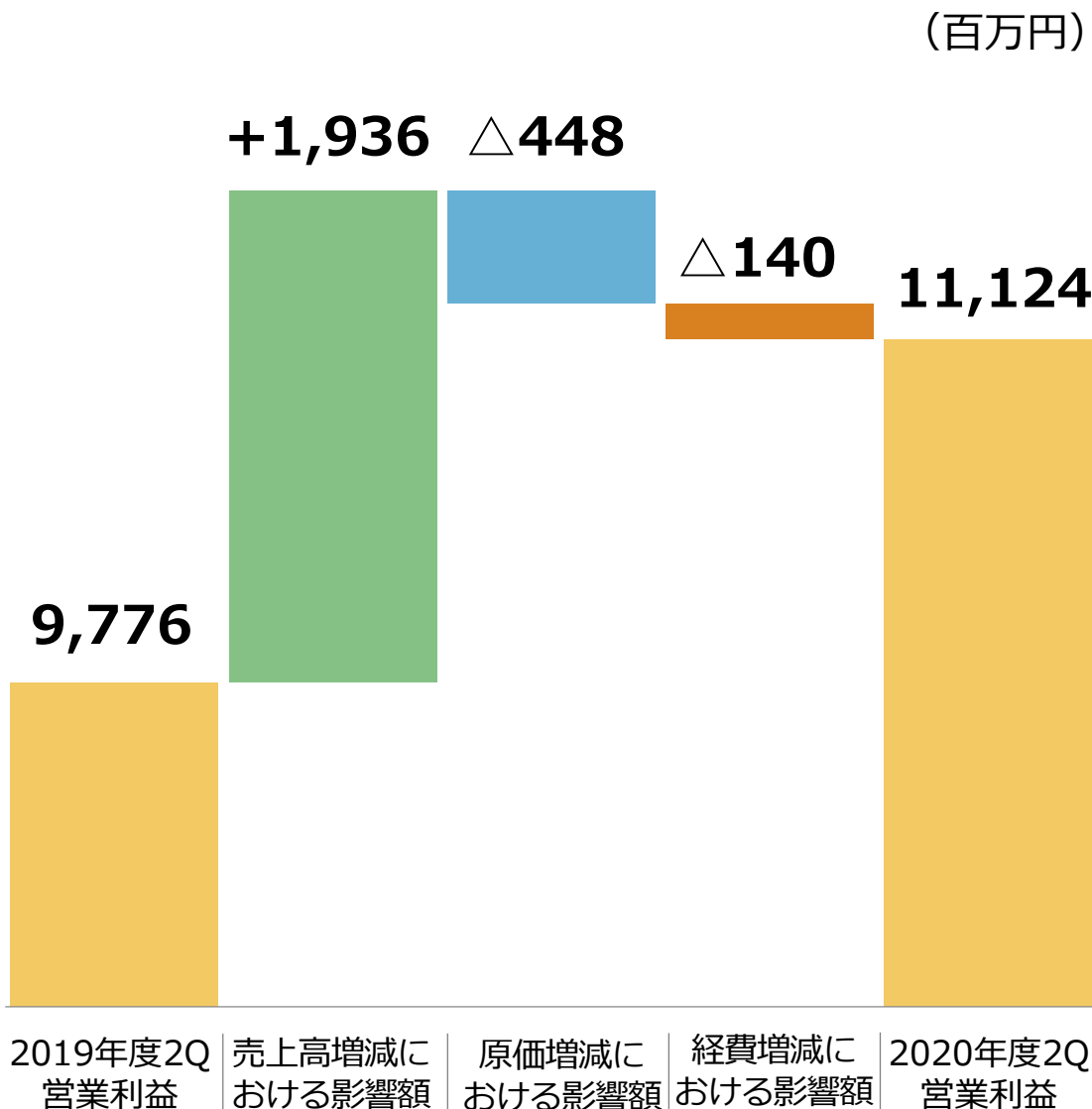
- 1) 後向き症例登録COVID-19感染者への投薬実態調査
(東北大学：高山 真先生)
- 2) 前向き介入COVID-19感染者への治療効果
(東北大学：高山 真先生)
- 3) 前向き介入COVID-19の健常者の予防効果
(千葉大学：並木 隆雄先生)

10月9日

薬事日報HP

並木 隆雄先生 (千葉大学) 高山 真先生 (東北大学) 他
千葉大、東北大などを中心に医療者計6000人を対象に
COVID-19発病予防への漢方薬の効果を確認する大規模
な臨床研究を開始する

営業利益の増減要因（前年同期比較）



(百万円)

売上原価増減影響額 内訳	
販売単価・構成	△448
生薬コスト低減	+768
製造原価低減	+255
中国外部販売増	△1,023

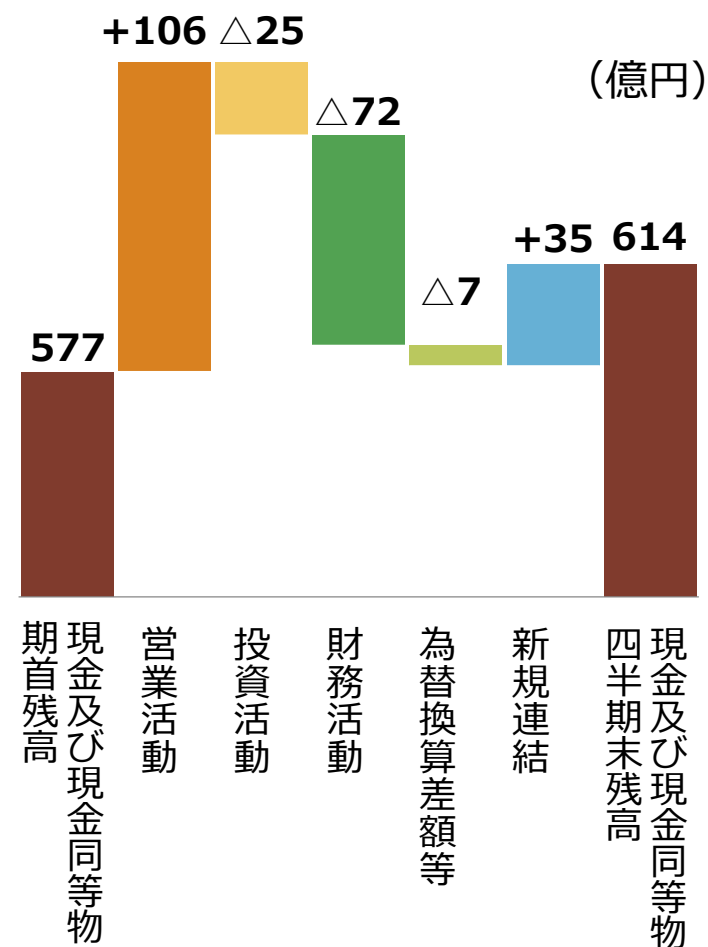
経費増減影響額 内訳	
販売関連費用	△245
研究開発費	△138
旅費交通費	+510
その他	△267

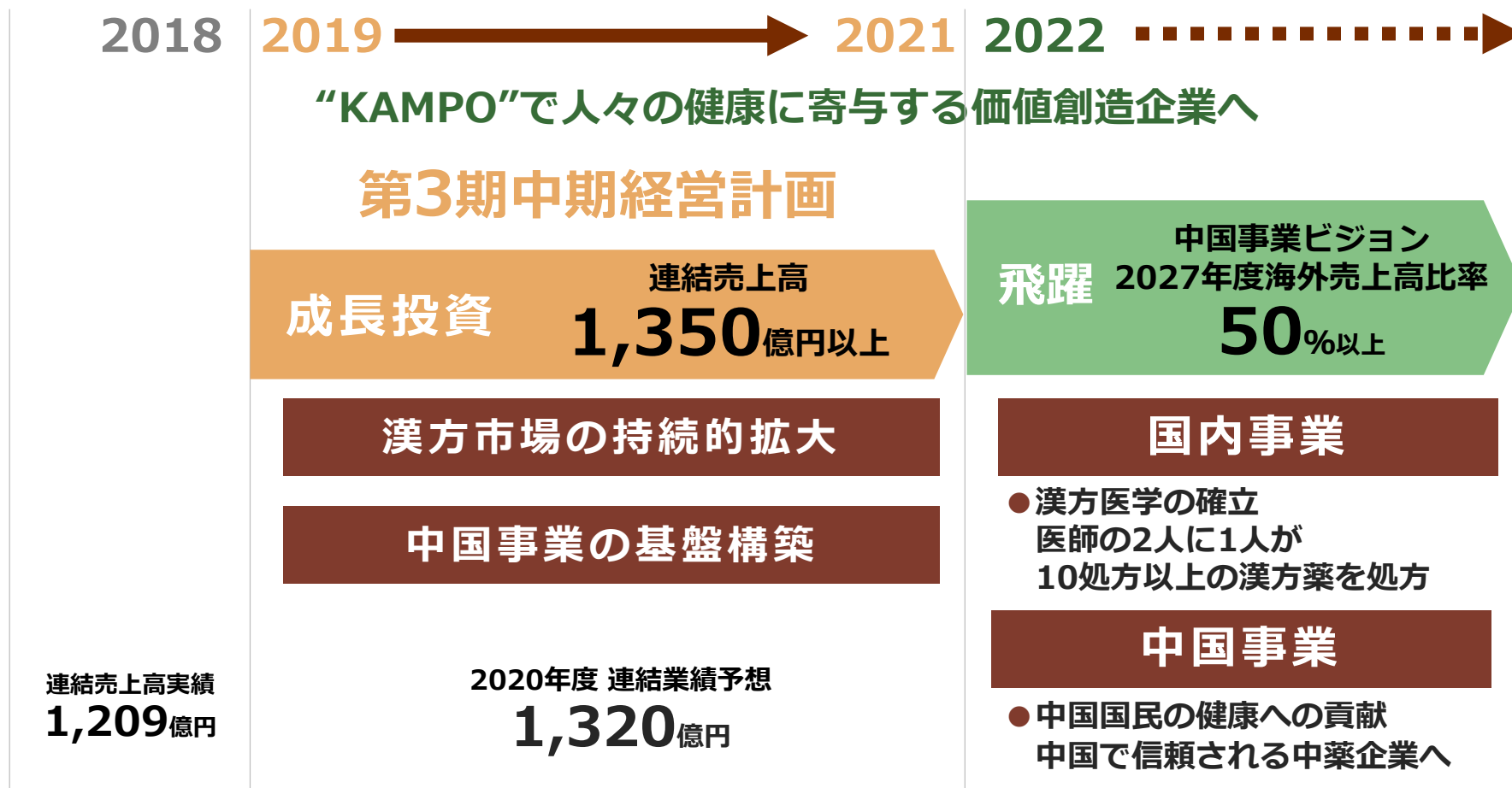
財務状態およびキャッシュ・フロー

(百万円)

	2019年度 (2020.3)	2020年度 2Q	増減額
資産合計	311,042	308,415	△2,626
流動資産	194,288	195,073	784
固定資産	116,753	113,341	△3,411
負債合計	97,993	84,490	△13,502
流動負債	48,476	44,495	△3,981
固定負債	49,516	39,995	△9,251
純資産合計	213,048	223,924	10,875
自己資本比率	66.0%	68.0%	2.0pt

	2019年度 (2020.3)	2020年度 2Q	増減額
たな卸資産計	73,310	72,989	△321
商品及び製品	10,338	10,874	536
仕掛品	12,418	13,916	1,497
原材料及び貯蔵品	50,553	48,197	△2,355





戦略課題

1. 漢方市場の持続的拡大とプレゼンスの確立
2. 中国における成長投資と事業基盤の構築
3. 新技術を活用した生産性の向上
- AI、ロボット化、RPA -
4. 理念経営による企業文化の醸成と多様な人財の開発
5. 漢方バリューチェーンを通じたSDGsの推進

- 高齢者関連領域、がん領域（支持療法）、女性関連領域を重点3領域と位置付け、集中的に活動する
- 育薬処方、Growing処方、重点3領域の関連処方による営業アプローチを展開する

高齢者関連領域

精神・神経疾患

育 抑肝散
+ 関連処方

呼吸器疾患

G 麦門冬湯
+ 関連処方

循環器疾患における周辺症状

G 五苓散 + 関連処方

消化器疾患

育 六君子湯
育 大建中湯
G 補中益気湯
+ 関連処方

がん領域 (支持療法)

副作用の軽減など

育 六君子湯
育 半夏瀉心湯
育 牛車腎気丸
+ 関連処方

女性関連領域

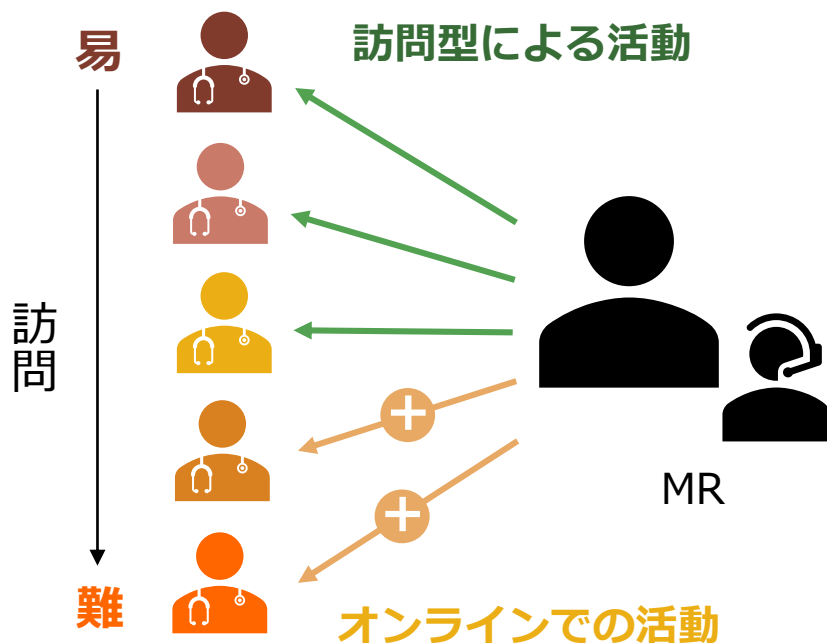
婦人科疾患

G 加味逍遙散
+ 関連処方

その他の疾患・症状など

育 大建中湯
G 五苓散
+ 関連処方

医療関係者からの要請に応じて 訪問型とオンラインでの活動を使い分ける



訪問型	MRによる訪問面談 (院内説明会・情報提供)
訪問型	会場実施型の講演会・研究会 (実技※1を含む漢方医学、エビデンス)
オンライン	リモートによる情報提供 (説明会・デジタルパンフレット)
オンライン	Web講演会・研究会 (漢方医学、エビデンス)
オンライン	会員向けホームページ (動画コンテンツ、CMEデジタル※2)

※1実技：漢方診療に用いられる腹診、舌診、脈診など

※2CMEデジタル：医師をはじめとした医療従事者の漢方医学に関する生涯教育
(Continuing Medical Education)

【ターゲット】主に10処方未満の処方医師と全く処方していない医師

テーマ	主な処方名	講演者	視聴者数
漢方を分かりやすく理解するなぜ、めまい、ストレスを中心に	麻黄附子細辛湯 苓桂朮甘湯	千福 貞博 先生 センブククリニック	23,917名
急性発熱性疾患への漢方対応とその応用 今、感冒をどう診るか	麻黄湯 柴胡桂枝乾姜湯	高山 真 先生 東北大学	19,639名
外部環境の変化（夏季・ストレス）に対応する漢方薬	清暑益気湯 補中益気湯	大野 修嗣 先生 大野クリニック	20,306名
ガイドラインから読み解く漢方治療のエビデンス～機能性消化管疾患を中心に	六君子湯 大建中湯	眞部 紀明 先生 川崎医科大学	20,729名

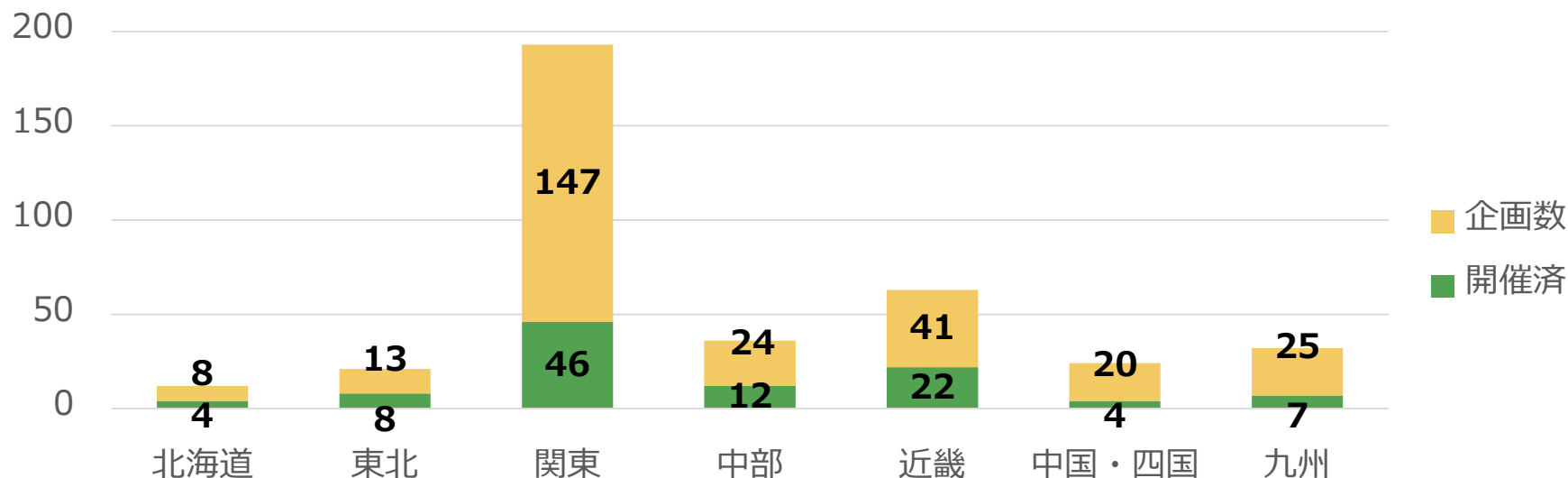
(前年同期比)

処方名	
麻黄湯	+15.4%
補中益気湯	+8.4%
苓桂朮甘湯	+7.6%
清暑益気湯	+6.6%
柴胡桂枝乾姜湯	+1.6%
六君子湯	+1.5%

処方名	
大建中湯	△0.5%
麻黄附子細辛湯	△8.6%

エリア企画 地域特性・施設特徴を考慮した、きめ細かい情報提供
漢方を学びたい医師向け「漢方医学入門セミナー」

【エリアWeb講演会】企画・開催予定：278回 開催済：103回

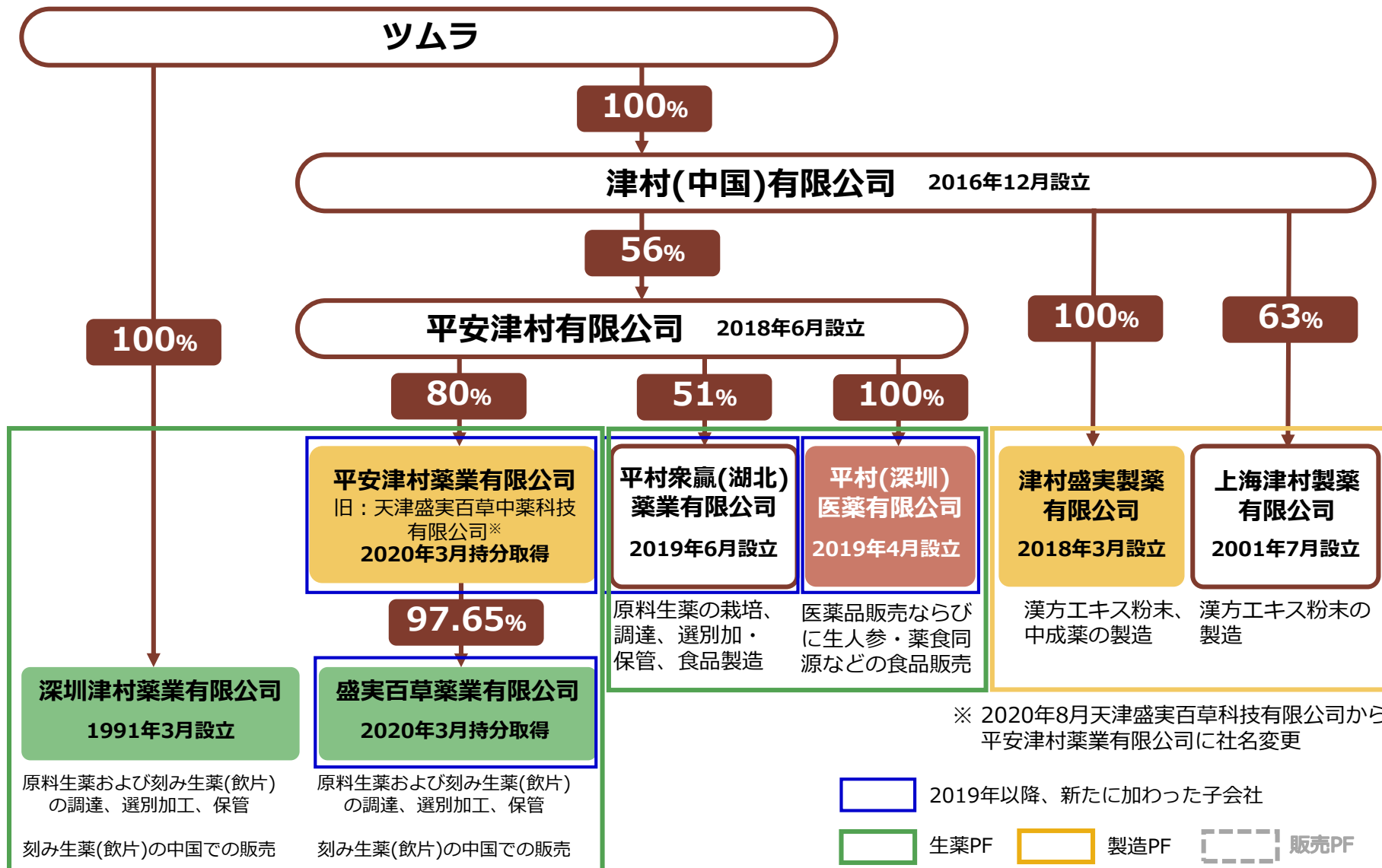


□開催事例： 高齢化率の高い地域では、「高齢者のフレイル※対策」で実施し、食欲不振、排尿障害など複数の症状に対応できる漢方薬を紹介。
視聴数：最大180名（近畿エリア）

2. 中国事業アップデート

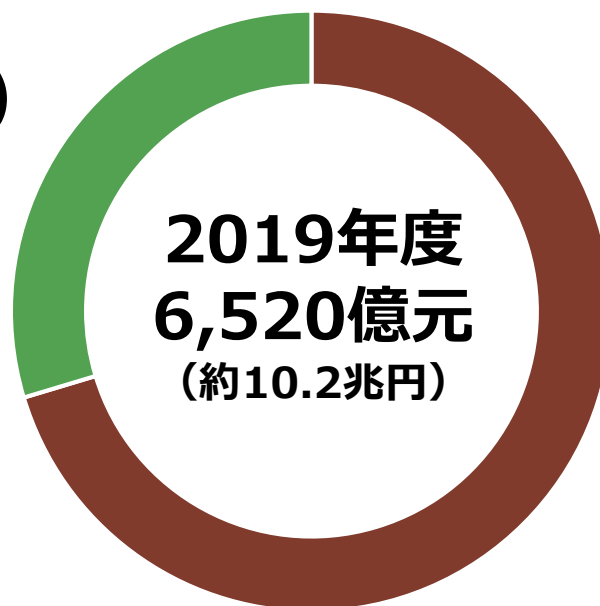
中国事業体制と資本関係 出資比率

2020年9月時点



■ 中成薬 ■ 刻み生薬（飲片）

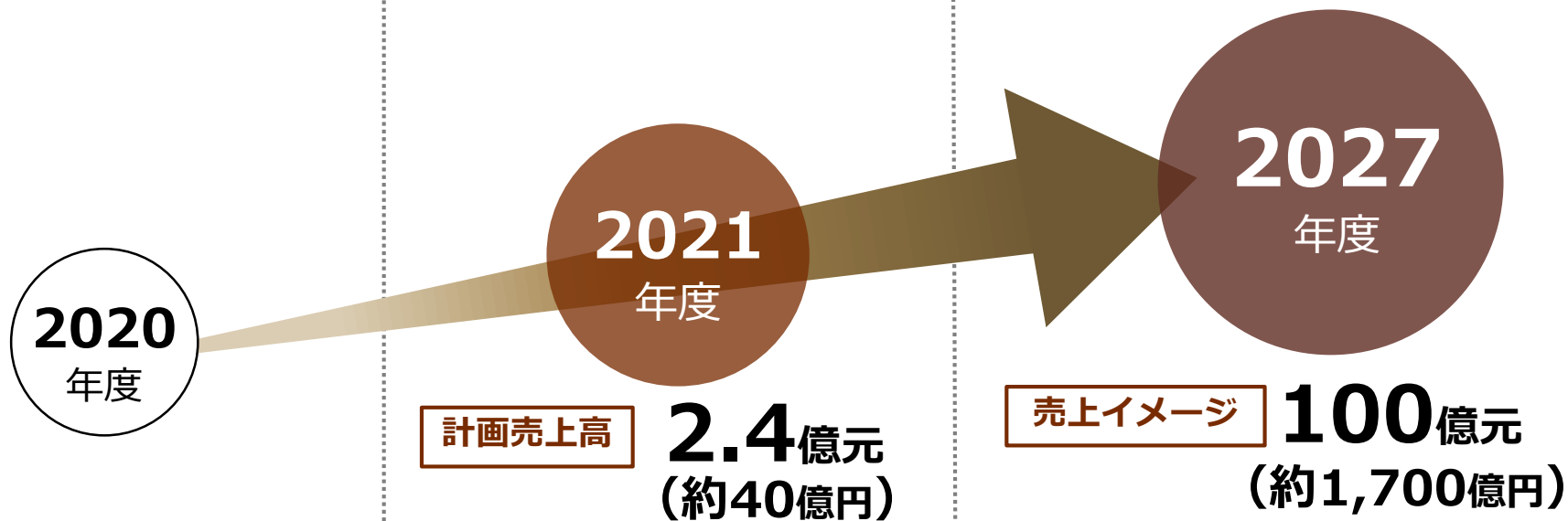
1,933億元
(約3.0兆円)



4,587億元
(約7.2兆円)

※換算レート：15.7円/元（2019年12月末時点）

出所：中国国家统计局、工业和信息化部



生薬PFの当期計画とビジョン

生薬原料・飲片・生人參・薬食同源 etc.

計画売上高 **2.4億元**
(約40億円)

計画売上高
前倒し

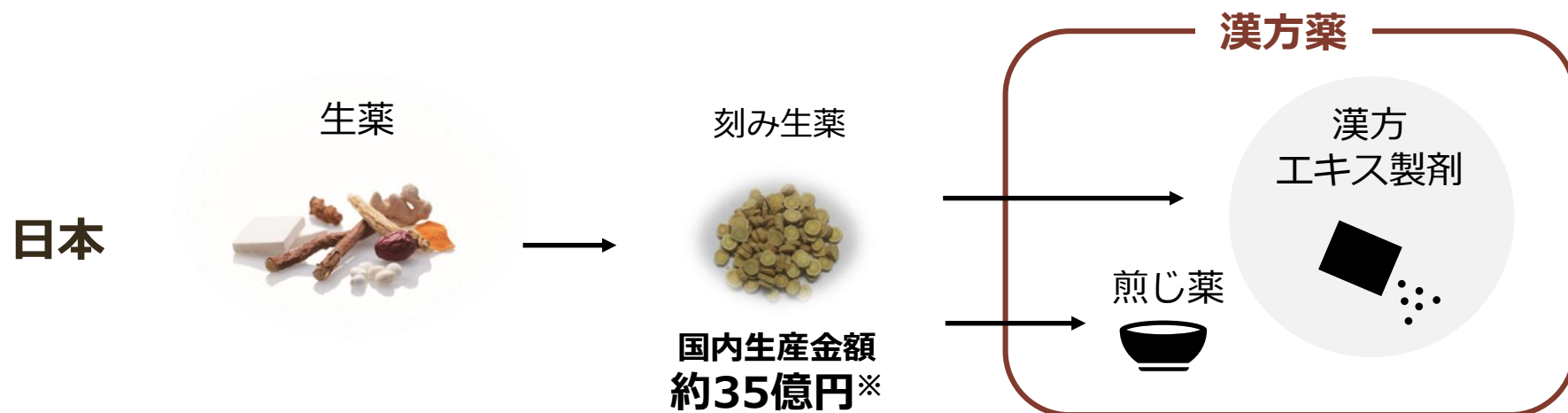
売上イメージ **30億元**
(約510億円)

製造PFのビジョン

古典処方中薬複合製剤・中成薬 (M&Aを含む) etc.

売上イメージ **70億元**
(約1,190億円)

中国における刻み生薬（飲片）

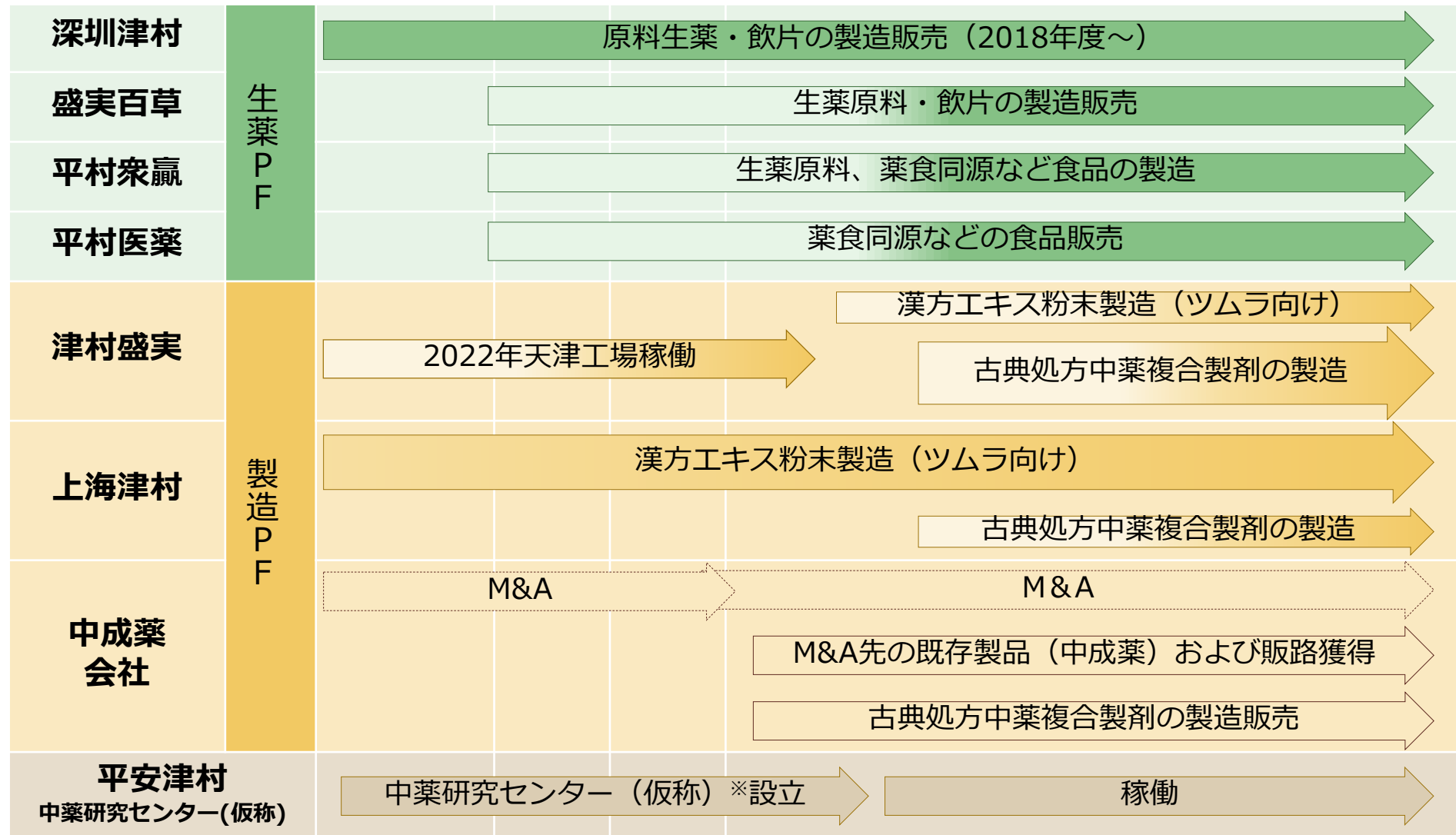


用語	意味	漢方医学において対応する語 (必ずしも「同義」ではない)
中薬	中医学で使用する薬剤（中成薬、飲片など）	漢方薬、刻み生薬、生薬
飲片	刻み生薬と同義。煎じて服用する	刻み生薬
中成薬	中医学の理論に基づいた処方を、顆粒や丸剤等の形にした薬剤	漢方エキス製剤

※出所：日本漢方生薬製剤協会「漢方製剤等の生産動態」

中国事業ビジョンのロードマップ（イメージ）

2019 2020 2021 2022 ~ 2027



3. 2020年度 業績予想・配当予想

2020年度 業績予想 ～ 修正なし

(百万円)

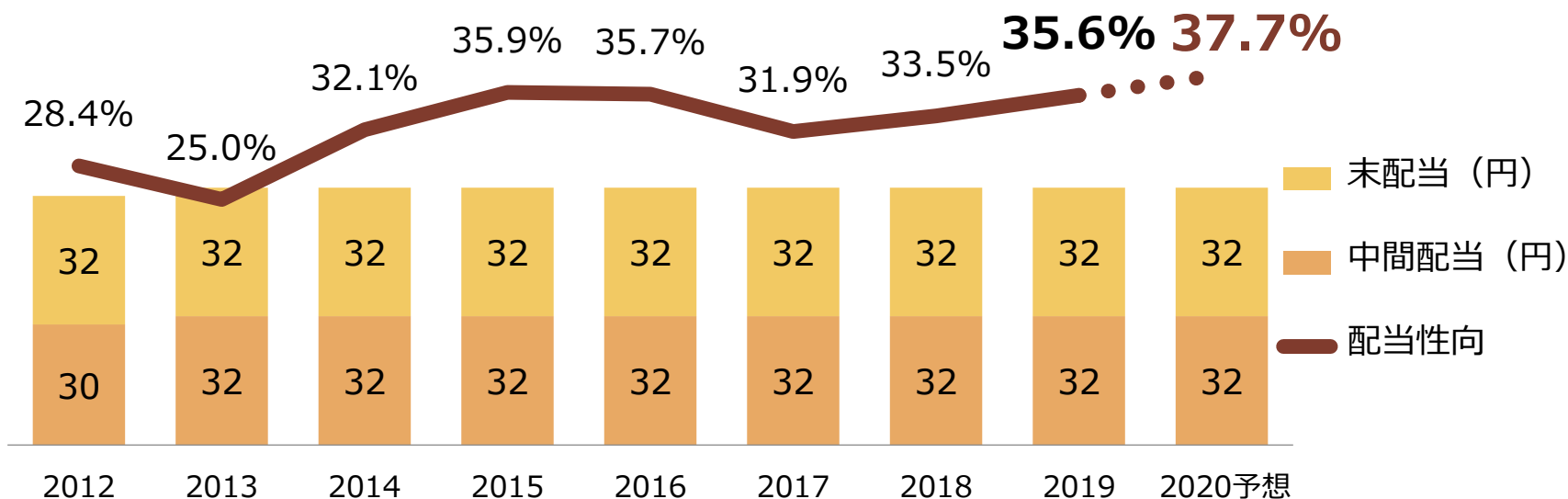
	2019年度実績	2020年度予想	前期比	
			金額	伸長率
売上高	123,248	132,000	8,751	7.1%
営業利益 (営業利益率)	18,876 (15.3%)	17,000 (12.9%)	△1,876	△9.9%
経常利益	19,649	17,900	△1,749	△8.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,765	13,000	△765	△5.6%

	2019年度実績	2020年度予想
配当金 (1株当たり)	64円	64円
EPS	179.96円	169.92円
ROE	6.8%	6.2%

現時点でCOVID-19の収束時期・影響を正確に見通すことが困難なため、業績予想にはCOVID-19の影響を反映しておりません。COVID-19の影響につきましては、第2四半期までに情報提供活動の制限等があり、活動経費を中心とした経費未消化などの影響があります。一方、医療現場において様々な疾患に対する漢方処方が増加しており、また当社としてもe-プロモーション等を活用した活動を推進することにより、計画に与える影響は限定的であると想定しております。今後も先行き不透明な状況が続くものと予想されますが、状況に変化が発生した際には適時・適切な開示を実施いたします。

方針

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業への成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する



(注) 2020年度期末配当金・配当性向(予想)は、第85回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想数値を記載

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ

TEL : 03-6361-7100

I R 推進グループ

TEL : 03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利・為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。